

副町長に

野間一成氏が就任

教育長に

鷺見寛幸氏を選任



野間副町長

このたび大山町副町長を拝命いたしました。

5月11日に就任いたしました。1か月余りがたちましたが、その責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

もとより、浅学非才にしてその任に堪えない者でございますが、是を是とし、非を非とする考え方でその職責を果たしてまいりたいと思っております。

竹口町長の大山町への思いの具現化と町行政に対する信頼の回復に向けて、今まで一緒にやってきた職員のみなさんと力を合わせて、取り組んでまいる所存でございます。

町民の皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



鷺見教育長

5月12日付けで教育長を拝命しました鷺見寛幸です。よろしくお願いたします。就任にあたり、今後の大山町の教育について私の思いを述べさせていただきます。

大山町の特徴を生かした教育

大山町は、全国にも誇れる豊かな自然・歴史・文化を有しています。子どもたちがこのような大山の素晴らしさにふれ、学ぶことで、大山を誇りに思い、ふるさと大山を愛し、将来の大山町を担うことのできる人づくりをすすめていきたいと思えます。そのためには、各保育所・小学校で地域の特徴を生かした魅力のある教育をすすめたと思います。

保育所・小学校・中学校との連携の強化

今の子どもたちをしっかりと育てる

ご紹介

昭和56年4月に米子市立福米東小学校教諭として採用され、大山中学校教諭、平成15年4月から日吉津小学校教頭、西部教育局係長、大山青年の家所長、大山小学校長などを歴任、大山町の教育の振興に寄与されました。大山自然解説員としても活躍中。

ことは、将来の大山町を創ることにつながります。幼児教育から学校教育へと学びを滑らかにつなぎ、学びの連続性を図ります。さらに保小中の連携により、知・徳・体のバランスの取れた乳幼児・児童・生徒の育成をすすめていきたいと思えます。

生涯学習の町づくり

幼児・学校教育だけでなく、人権・同和教育、公民館や図書館、体育施設など社会教育の充実を図ることと、町民一人一人が生き生きと学び続けることのできる生涯学習の町づくりをすすめていきたいと思えます。

町民の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

ご紹介

昭和56年6月に中山町役場に採用。税務・産業・総務課を経た後、3町合併時には中山支所住民課長、平成18年4月からは税務課長、企画情報課長を、そして平成27年4月からは会計管理者を歴任し、役場職員として大山町の振興に寄与されました。